

(参考) 第3回会議で評価番号を付した「思い・アイデア」 まとめ

地域外の所得を獲得する (バケツの水を増やす)

地域外へ流出する所得を抑える (バケツの穴を塞ぐ)

金銭的な効果・価値の評価が難しいもの

■ 「1」または「2」の評価 (重要かつ比較的早く実施できる・できそうなもの)

- ・地域資源を活用した各種体験プログラムの造成 (カヌー、海釣り、カニ獲り、漁船クルージング、ジビエ&海鮮BBQなど)
- ・養殖業や漁業とコラボしたツーリズムの造成 (給餌、網入れ体験、生簀ダイブ)
- ・学校向けのぎょしょく教育を一般来訪者向けに展開
- ・海の生物を自分で採って学ぶツアーの造成 (子供向け、大人向け)
- ・都会の小学生対象のサマースクールの開講 (海の生物を利用した体験教育)
- ・着地型観光 (体験やガイドのメニュー化) の構築
- ・機材レンタルとガイドのセットでシュノーケリングなどの体験を提供
- ・海の合宿免許 (小型船舶免許やスキューバダイビングのライセンス取得合宿)
- ・廃校を宿泊施設に転用した体験型海ツアーの取組 (海に特化した青年自然の家、期間外はシュノーケリングやダイビングなどの格安宿泊施設として開放)
- ・閉鎖された小中学校のキャンプ場化
- ・宿泊業者、飲食業者、アクティビティ関係者のネットワークの構築 (町全体でおもてなし)
- ・家族連れ、個人など多様な客層に柔軟に対応できる宿泊プランの提供
- ・相談を受け、調整、案内をするコンシェルジュの設置
- ・マリンレジャー、釣り、食、買い物、宿泊などの案内や、コーディネートしてくれるような施設または組織づくり
- ・地元飲食団体での食を絡めたイベントの実施
- ・水産物の生産者、卸売業者、それらのものを扱った小売業や飲食店等、全ての業種を介した意見交換の場の構築と商品増加、販路開拓
- ・愛南町版キッザニア (第一次産業含めた子供の職業・商業体験)
- ・天候不良で体験が中止になった際のアフターケアの充実 (シーボーンアート、山の体験、食や温泉など)
- ・グリーンツーリズム (農山漁村における滞在型の余暇活動) との連携
- ・シルバー人材の活躍する取組
- ・人の成長とともにお金が落ちる環境の整備 (ガイド見習いが割安で体験を提供する。)
- ・海岸漂着ごみの回収処理

■ 「3」の評価が付いたもの (重要かつ時間を要するもの)

- ・ 須ノ川公園を中心とした、アウトドアやマリンレジャーの拠点をつくる
- ・ 地域共通のアクティビティと宿泊のセットチケットをふるさと納税で販売
- ・ 商店街や石垣の里にある古民家などを改修して宿泊施設化
- ・ 若者向けの就業機会や居住環境の整備
- ・ へい死魚や水産物の残渣、魚油を肥料にするなどの再資源化施設の整備
- ・ 海の博物館（資料館）の整備（愛南町の昔の写真、漁や養殖業の資料を保存・展示）
- ・ 海洋ごみの無い美しい海のまち愛南町の実現（何度も来たいと思える町）

■ 「4」または「5」の評価が付いたもの

(比較的重要なかつ比較的早く実施できる・できそうなもの)

- ・ グランピングやコンテナハウスを用いた宿泊施設の整備
- ・ 知識も道具も何も持たずに参加OKの釣りサービス事業
- ・ 気軽にマリンアクティビティ（海釣り、磯釣り、ダイビングなど）を楽しめるようにする
- ・ ECサイトを活用した販売促進
- ・ 事業主の育成環境の整備（起業のための技術習得や人材育成の場となる組織の構築）

※ 「6」～「9」の評価となったものについては省略。